

令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析・活用について

学校名	大磯町立大磯小学校
-----	-----------

1 調査結果の分析で明らかになったこと

	習得の状況が良好であると判断できるもの	指導の改善・充実が求められるもの
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができる。 ・日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして伝え合う内容を検討することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の活用の仕方や、自分の考えをまとめたり、考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることが難しい。 ・「話す・聞く」活動を通して、自分の考えをまとめる経験を積んだり、主張・根拠・具体例などの柱立てをしたりしながら伝えられるような授業づくりをしていく。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる。 ・伴って変わる二つの数量に着目し、必要な数量を見出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出題の趣旨を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することが難しい。 ・既習事項の定着が図られるよう発問に織り交ぜながら提示して進めていく。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の方法を発想したり、結果や問題に対するまとめを基に、他の条件での結果を予想して表現したりすることができる。 ・顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの金属の特徴や電気回路など2学年下の既習内容が身に付いていない。 ・既習内容が積み上げられるよう、縦の学習内容を把握し、系統的な授業づくりができるよう工夫する。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ・生活面では、朝食をしっかりと摂り、自己肯定感も高く、幸せな気持ちで過ごしている。 ・学習面は、実験がある理科やタブレットを用いた調べ学習等について、楽しいと感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語・算数の苦手意識が強い。家庭での学習時間が少なく、学校だけに留まるため、基礎が定着しない。 ・国語・算数の基礎基本を徹底し、発問を細分化しながら、「なるほど」「わかった」が感じられる授業づくりを計画する。

2 学校運営及び授業の充実に向けた取り組み

対話や協働的な学びをとおして、学ぶことが楽しいと味わえる授業を構築していく。意見や考えを受け止め、つなげられるように取り組む。

基礎・基本の徹底を図るために、学年で家庭学習用のプリントを準備したり、「自主学習用ノート」を作ったりしながら、家庭でも学習習慣が定着するようにしていく。

3 家庭（地域）へのお知らせ ※取り組んでいただきたい内容や知っておいてほしい内容

お子さん一人一人の自己肯定感を高め、楽しく安心して生活が送れますよう、ご家庭でもお子さんの頑張りやよさを認め、温かい声かけをお願いします。

学校目標である「おだやかに 自ら学び 共に育つ」をより達成するために、今後とも学校の教育活動へのご理解、ご協力及び子どもたちの見守り、応援をよろしくお願いします。